

—連続公開講座 国土強靱化で日本はどうか？（第2回）—

バラマキで老朽化インフラの危険はなくなる！ 先進自治体の実践に学ぶ「選択と集中」

安倍政権は、「国土強靱化」を看板政策に掲げ、「国土強靱化で災害に強い国土ができる」「国土強靱化による財政出動で景気が回復する」とうたい、2012年度補正と2013年度予算を合わせ15カ月予算で合計105.7兆円の「切れ目ない財政出動」に努めるとしています。しかし、公共事業の内容をチェックせずに財政出動を行って、災害に強い国土、景気浮揚効果はうまれるのでしょうか。公共事業改革市民会議では、「国土強靱化」論を検証するため、テーマごとに専門家を招いて公開講座を企画します。

第2回は、笹子トンネル事故以前から老朽化インフラの問題を取り上げてきたジャーナリストの相川俊英さんをお招きします。秦野市など先進自治体における老朽化対策のほか、国のすすめているメンテナンス計画の現状についてご報告いただき、持続可能な責任あるメンテナンスを実現するために何が必要かを考えます。ぜひご参加下さい。

講師 相川俊英（ジャーナリスト）

日時 2013年4月3日（水）午後5時～6時（質疑応答6時～7時）

場所 参議院議員会館 地下1階 B107 会議室

最寄り駅：永田町駅／国会議事堂前 午後4時40分より会館ロビーで入館証を配布

連続公開講座「国土強靱化で日本はどうか？」今後のテーマ（4月～5月予定／順不同）

○「税金の使い方—開発型公共事業か、対人支援サービスへの公共投資か」

講師：湯浅 誠さん（反貧困ネットワーク事務局長、NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事、元内閣府参与）

○「巨大防潮堤計画は被災地住民を幸福にするか」（仮題）

講師（予定）：畠山信さん（NPO 法人森は海の恋人副理事長）

主催：公共事業改革市民会議（TEL&FAX045-620-2284 mizumondai@xvh.biglobe.ne.jp）

~~~~~公共事業改革市民会議とは~~~~~  
2013年1月、道路・ダム・湿地埋め立て、スーパー堤防などの公共事業や自然保護に取り組む複数の市民団体・個人が結集して立ち上げた団体です。税金の使い方、公共事業に関する課題を共有し、情報発信や政策提言につなげるため、オープン会合（月1回ペース）を開き始めました。